

表2 不育症の4大原因

不育症の原因	推奨される検査	治療方針	治療の現状と問題点
抗リン脂質抗体	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ループスアンチコアグラント リン脂質中和法 APTT(281) 希釈ラッセル蛇毒法 RVVT(281)</li> <li>●抗カルジオリピン抗体(232)もしくは 抗β2GPI/カルジオリピン複合体抗体(223)</li> </ul> ※いずれも12週間持続	妊娠初期からの 低用量アスピリン・ヘ パリン療法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 出産率70-80%</li> <li>■ 治療困難な症例がある</li> <li>■ 適切に検査が行われていない</li> </ul>
先天性子宮形態異常	経膈超音波検査(530)	中隔子宮に対する 中隔切除術	■手術によって出産率は 改善しないことが報告さ れている。
カップルの染色体異常 (主に均衡型転座)	染色体G分染法(3028)	遺伝カウンセリング 着床前検査	■着床前検査によって流 産は減少するが、出産率 は改善しない。
胎児染色体異数性	絨毛染色体検査	遺伝カウンセリング 着床前検査	■着床前検査によって出 産率は改善しない。流産 は減少する可能性がある。

( )内の数字は保険点数

THE LANCET: Miscarriage 1, April 26, 2021

欧州・米国生殖医学会、国際抗リン脂質抗体学会